

切った瞬間の驚き！

弘前大発の新しい

リンゴ

たち。

弘前大学育成品種

くれない ゆめ
紅の夢

Kurenai no yume



来歴
弘前大学農学生命科学部附属藤崎農場において、弘前大学名誉教授塩崎雄之輔氏が「紅玉」×「赤肉親系統1」を交配育成した品種。

育成者 塩崎雄之輔

特性
果重は350g前後と「紅玉」よりやや大きく、果形は円～楕円形。果皮は暗赤色で薄く着色容易。果肉が淡紅色になることが最大の特徴。糖度13%～、酸度0.9%と甘酸っぱい食味で、渋みがなく、従来のリンゴに比べ果肉の褐変が少なく、個性のある赤い肉質を生かした生食、加工ともに需要が見込まれる。貯蔵性は普通冷蔵で3ヶ月程度。果皮に斑点状の障害が発生する事があるが有袋栽培で克服できる。

S遺伝子型 S₃S₇

収穫期 青森県で10月下旬～11月上旬。

2010年品種登録 / 登録番号 19259

HFF33

Hirosaki University Fujisaki Farm Strain No.33



来歴
弘前大学藤崎農場育成品種 親品種は現在調査中

育成者 塩崎雄之輔・松本和浩・藤田知道・佐藤早希

特性
果重は350g以上になり、果形は肩の張った丸型になる。果皮は「千秋」のように縞模様にも赤く色づく。酸含量が0.4%と「ふじ」と同程度で生食しやすい。「紅の夢」と比べてきわめて貯蔵性が良いのも特徴。気象条件により心カビ症が発生する事がある。

S遺伝子型 S₂S₃

収穫期 11月上旬～中旬。

2013年品種登録申請 / 申請番号 27813

HFF60

Hirosaki University Fujisaki Farm Strain No.60



来歴
弘前大学藤崎農場育成品種 親品種は現在調査中

育成者 塩崎雄之輔・松本和浩・藤田知道・佐藤早希

特性
果重は350g前後と紅の夢と同じくらい、果形は王林に似た縦長になる。「紅の夢」や「HFF33」と異なって果皮が黄色になり、果皮を通して果肉の赤色が淡いピンク色に透けて見える。「紅の夢」に比べ酸含量が0.4%と酸味が抑えられており、生食しやすいためケーキやサラダのデコレーションにも適している。収穫期が高湿の場合、果肉が着色しにくい事がある。

S遺伝子型 S₂S₃

収穫期 9月下旬～10月上旬。

2013年品種登録申請 / 申請番号 27814

HFF63

Hirosaki University Fujisaki Farm Strain No.63



来歴
弘前大学藤崎農場育成品種 親品種は現在調査中

育成者 塩崎雄之輔・松本和浩・藤田知道

特性
果重は350g前後で、果形は王林に似た縦長になる。果皮は黄色で果肉が白色で硬い。糖度が15%以上になりさわやかな甘みが特徴で蜜入りが良い。

収穫期 11月上旬～中旬。

2013年品種登録申請 / 申請番号 27815

こうこう

Kohkoh



来歴
弘前大学名誉教授塩崎雄之輔氏が「弘大1号」×「ふじ」を交配育成した品種。

育成者 塩崎雄之輔

特性
果重は300～350g、果形は扁円形。果皮は黄色でさび状果点がなく果面なめらかである。果肉は白色で硬く、蜜入りの良い食味の大変優れた品種。貯蔵性に優れ普通冷蔵で6ヶ月位。収穫後半月程は特にスクロース含量が多く、おいしい。

S遺伝子型 S₁S₂

収穫期 青森県では10月下旬～11月上旬。

1999年品種登録 / 登録番号 7179

弘大みさき

Hirodai misaki



来歴
弘前大学名誉教授塩崎雄之輔氏が「弘大1号」×「ふじ」を交配育成した3倍体品種。

育成者 塩崎雄之輔

特性
果重は450～500g以上と大玉で、果形は円形。果皮は黄緑色で果肉は白色。糖度、酸度のバランスのとれた爽やかな味特徴で、特に香りが良い。ジュースやジャムにも最適。カラーチャートで2程度のやや緑色の時期が収穫適期であるが、陸奥のように有袋にする事により、ほんのりピンク色に着色する。

S遺伝子型 S₂S₃S₉

収穫期 青森県では10月上旬～中旬。

2010年品種登録 / 登録番号 19260

「紅の夢」から生まれた加工品は、天然の美しいピンク色が魅力です。

「紅の夢」の売り先には、生食以外にも加工品が有力です。その発色の良さはアップルパイやジュース、ジャム、カットリンゴなど次々に生かされています。同じような加工品がひしめく中で「赤い果肉」は新たな価値をみなさんに届けます。あなたも赤い果肉に夢を抱いてみませんか？アイデア次第であなたのオリジナル商品ができます。



紅の夢を広げる 紅の夢公式ホームページ
<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/kurenainoyume/>

紅の夢普及推進委員会

弘前大学が開発した新品種「紅の夢」はまだまだ広まっていないのが実態です。「紅の夢」の普及推進のために弘前大学・地域企業・種苗会社・加工業が手を取り合い、情報を共有して様々な事業展開をしていくのが紅の夢普及推進委員会です。この委員会はその活動の中で、「紅の夢」を活用して出してきた利益を地域や努力を惜しまないリンゴ生産者に還元する仕組みを整え、地域産業の活性化に貢献することを目指しています。

